

施 策 カ ル テ

1 施策の位置付け

総合計画 政策の柱		市民の学ぶ意欲と豊かなところを育むために	政策名 (基本施策名)	個性的な市民文化・都市文化を創造する	取組の 基本方向	「個性的な市民文化・都市文化を創造する」ため、市民の自主的な文化活動を推進するための「文化活動環境の充実」、市民の文化遺産・伝統文化に対する意識を高めるため「文化的資源の掘り起こし、保存、継承」に重点的に取り組みます。	政策目標 (基本施策目標)	本市の誇りである地域文化が市民の手により生まれ、魅力あふれる個性的な市民文化・都市文化が創造されています。
--------------	--	----------------------	----------------	--------------------	-------------	---	------------------	---

2 施策の現状と達成状況、課題の抽出

①施策名	文化活動環境の充実		④ 施策の達成状況	施策指標(単位)						達成率 (%)
	②施策目標	市民が、主体的に芸術文化活動を展開しています。		H19:基準	H20	H21	H22	H23	H24:目標	
③施策を取巻く環境	国・県等の動向	国により、平成23年2月に「文化芸術の振興に関する基本的な方針(第3次基本方針)」が閣議決定し、文化芸術の振興を公共政策と位置づけ、以後5年間を見通した文化芸術の振興を総合的に推進するとされた。また公益法人制度改革により、財団の役割が法により明確化できるようになった。	指標① (総合計画に基づく指標) 市民芸術祭、ジュニア芸術祭の参加者数 指標② 指標③ 指標④ (特記事項)	実績値	110,000	112,000	115,000	118,000	120,000	100.8%
外部意見 その他	少子高齢化により文化芸術の担い手が減少している。	101892		100,391	114,221	120,938	-----	#DIV/0!		
市民の 施策満足度	33.9%	市民の 施策重要度		48.8%	達成度 (単年度目標)	● 達成している (90%以上)	概ね達成 (70%~90%未満)	達成していない (70%未満)	説明	「ジャズのまち」が定着してきたことにより、中心市街地で実施している市民芸術祭軽音楽部会の事業の観覧者数が大幅に伸びたとともに、新たにミュージカル部会が発足し、新事業が開催され参加者・観覧者が増えたことにより、目標値を大きく上回った。
⑤ 市民意識調査結果				必要性・緊急性 (住民・社会ニーズ)	● 増加している	横ばい	減少している	説明	平成22年度の市民意識調査によると、本施策の重要度が1.4ポイント上昇しており、必要性が高まっている。	
			⑥ 施策の評価	適切性 (適切な事務事業の選択、実施)	● 十分である	不十分な事業が一部ある	不十分な事業が複数ある	説明	文化振興の核となる人材育成や財団法人うつつのみや文化創造財団との連携の強化を図る必要があるとともに、ハード面においては、既存施設の防音対策の遅れなど、多様な文化活動を支援するための文化活動環境が十分整っているとは言えない。	
				有効性 (政策目標への効果)	● 十分である	やや不十分である	不十分である	説明	市民芸術祭においてミュージカル部会が発足するなど、市民が主体となった新分野の活動が生じており、また市民芸術祭軽音楽部会の事業の観覧者数が増えるなど、個性ある市民文化が定着しつつあることから、本施策は有効であると言える。	
				⑦ 現状分析と課題の抽出 (3) (5) (6) を踏まえた分析		成果が見られる点 市民芸術祭等の文化活動の参加者が増加しており、施策目標はほぼ達成している。		改善の必要な点 平成24年度の施策目標は既に達成しているが、更に市民の文化活動の質の向上を目指すために、財団との連携の強化を図るとともに、ハード面における文化活動環境の充実に努める必要がある。また、引き続き市民の文化活動を促進するため、本市の特性である誇れる文化資源を活用し、次世代に引き継いでいくことが必要である。		

3 今後の取組方針

⑧取組の考え方	総論	魅力ある市民文化・都市文化の創造のため、市民の文化活動の支援を推進するとともに本市の文化資源の活用を促進する。	➡	⑨政策評価 会議意見	同左
	重点事業	市民の文化活動に対する育成・支援を行い、特に本市の特色ある文化資源である「ジャズ」「百人一首」「妖精」などについて全国的にも評価されるような取組を推進するとともに、次世代の文化の担い手となる若者などに対する文化振興事業を推進することで、市民の自主的な文化活動につなげる。			
	見直し事業	市民芸術祭においてより質が高く、个性的で創造的な事業を実施していくために体制等見直しを図る。			

4 施策を構成する事務事業一覧

No.	事業名	対象者	開始年度	活動指標等	H21	H22	H21	H22	重点度 (A~C)	事業の 方向性	施策目標を達成するための取組方針
					目標値	目標値	事業費 (千円)	事業費 (千円)			
1	うつつのみや百人一首市民大会交付金 担当課 文化課	市民等	H7	市民大会、文化講演会開催数	2	2	1,979	1,946	A	拡大	文化活動への市民参加のきっかけづくりとして、また本市独自の文化素材である「百人一首」の市民定着を図るため、平成23年度については、市民や児童が「百人一首」に触れることのできるイベントを開催する。また、学校の現場においても児童が「百人一首」に触れる機会の拡大を目指す。
					2	1					
2	ジャズのまち普及事業補助金 担当課 文化課	市民等	H22	事業数等	0	15	0	1,444	A	継続	各種事業が市民の間に定着してきており文化活動環境の充実に寄与しているが、今後は市と民間の役割分担に基づき、市民協働のもとジャズのまちづくりを推進する。
					0	15					
3	ジャズのまち活性化事業補助金 担当課 文化課	市民等	H22	事業数等	0	2	0	1,260	A	継続	事業が市民の間に定着してきており文化活動環境の充実に寄与しているが、今後は市と民間の役割分担に基づき、市民協働のもとジャズのまちづくりを推進する。
					0	2					
4	妖精資料活用事業 担当課 文化課	市民等	H16	妖精資料活用事業数	45	47	14,316	10,657	A	継続	今後更に市民の文化活動への参加のきっかけとなるよう、有効な資料の活用方法を検討し、市民ボランティアが主体となった事業展開を推進する。
					48	51					
5	文化会館事業 担当課 文化課	市民等	S54	事業数	40	25	83,925	94,846	A	継続	芸術文化の専門的知識を持つ財団法人うつつのみや文化創造財団において、さらに自主性を高めた独自の事業展開を進めていくとともに、教育普及啓発事業のさらなる拡充に努める。
					40	25					
6	美術館事業 担当課 文化課	市民等	H9	事業数	70	83	252,771	225,853	A	継続	芸術文化の専門的知識を持つ財団法人うつつのみや文化創造財団において、さらに自主性を高めた独自の事業展開を進めていくとともに、教育普及啓発事業のさらなる拡充に努める。
					71	83					

様式 2

7	ジュニア芸術祭共催事業負担金	小中学生	H11	ジュニア芸術祭開催事業数	6	6	3,980	3,967	A	継続	次世代の文化振興の担い手となる子どもたちの教育分野にかかる文化芸術の発表の場として、学校との協力体制を強化する等運営に工夫をしながら事業を継続する。
	担当課				文化課	6					
8	文化会館整備事業（単独）	文化会館	S54	工事費	28,114	15,150	28,114	15,150	A	継続	経年劣化が進み、施設の整備・更新箇所が増えていることから整備内容等を十分精査し、市民ニーズに対応した計画的な整備・更新を進めていくことが急務である。
	担当課				文化課	28,114					
9	美術館整備事業	美術館	H9	工事費	1,800	4,490	1,800	4,490	A	継続	経年劣化が進み、施設の整備・更新箇所が増えていることから整備内容等を十分精査し、市民ニーズに対応した計画的な整備・更新を進めていく。
	担当課				文化課	1,800					
10	宇都宮エスペール文化振興事業	若手芸術家・市民	H13	今後の活躍が期待できる若手芸術家の選出、質の高い成果発表機会の創出（H20までは選考委員会開催数、受賞者の発表数）	2	2	3,330	3,329	B	見直し	若手芸術家育成のため、平成23年度から、宇都宮エスペール賞受賞者と市民がふれあいの場を提供する育成支援事業（プロボート事業）と宇都宮エスペール賞授与を隔年で開催することに見直した。
	担当課				文化課	2					
11	市民芸術祭共催事業負担金	市民等	S55	市民芸術祭開催事業数	16	24	7,690	7,237	B	見直し	更に質の高い事業の展開を目指し、行政の役割の見直し等（財団への事務移管等）について、検討する。
	担当課				文化課	16					
12	文化協会事業補助金	文化協会	S54	事業数	15	15	1,533	1,533	B	継続	今後も継続的な支援を行うことで、市民主体の文化活動を促進する。
	担当課				文化課	15					
13	財団法人うつのみや文化創造財団運営補助金	財団法人うつのみや文化創造財団	H14	補助対象団体数（H20までは補助対象者数）	1	1	14,068	44,439	C	継続	市民の文化芸術の振興のための教育普及事業等実施の中核を担う組織として、適切な支援を行う。
	担当課				文化課	1					
14	芸術文化団体派遣補助金	全国大会出場団体	S62	補助対象者数	60	30	240	100	C	継続	助成によって、補助対象者の文化活動が活性化を目指す。
	担当課				文化課	48					
施 策 事 業 費 合 計							413,746	416,251			